

道徳科指導案

～

1 主題名 家族の助け合い（内容項目C－（15）：家族愛、家庭生活の充実）

2 教材名 「お母さんのせいきゅう書」（出典：新しいどうとく④ 東京書籍）

3 主題設定の理由

（1）〈ねらいとする価値〉

この主題は、学習指導要領における第3章「特別の教科 道徳」、第2の「内容」のC「主として集団や社会とのかかわりに関すること」の（15）「父母、祖父母を敬愛し、家族みんなで協力し合って楽しい家庭をつくること。」を指導内容として位置付くものである。

父母と子、祖父母と孫という家族関係は、血縁によって結ばれているだけでなく、育てたものと育てられたものという人間関係でもある。そこには育てたものの慈しみの心が存在し、不幸にして父母や祖父母のいない子どもでも、父母祖父母に代わって自分を育ててくれた人があり、それが自分の家族あるという捉え方もできる。

しかし子どもたちにとって親の心は理解しにくい。「親の心子知らず」ということわざでもあるように、育ててくれる人が当たり前にいるということは幸せなことであるが、親に感謝したり、敬愛したりする心情まで育っていない。そこで、家族が慈しみの心をもって、自分の成長を見守ってくれる存在であることを気づかせたい。そうすることで、家族に対する敬愛の念が深くなり、家族の一員として、協力し合おうという心が生まれ、楽しい家庭をつくることにつながると考え、本主題を設定した。

（2） 児童の実態

本学級の児童は、家族のためにお手伝いをしている児童が多いことがアンケートから分かった。また、お手伝いをしていないと回答した児童の中でも、「お手伝いというわけではないが」と前置きをしてから家族のために働くことがある旨を述べていた。家族に対して感謝をしている反面、「怒ると怖いからやだ」や、「めんどくさい」と感じる児童も少なからずいる。そこで、子どもの成長を願う親の気持ちを知り、あらためて家族の大切さを感じさせ、家族の一員として協力していきたいという心情を育てたい。

（3） 教材観

たかしは母親に手伝い等の支払いを求めた請求書を渡す。それを見た母親は笑顔でその場をやり過ごす。お昼になり、母親は代金と母親からの請求書を渡す。そこには、今まで育ててきたことを無償とする内容が書いてあった。たかしはそれをくり返して読み、涙があふれてきた。この教材の良さは、母は、たかしならこの請求書の真意をわかってくれるだろうと思い、たかしもその請求書を受け取ってたくさん支えてくれていたことに気づいた点である。母親の行動は、さもすれば回りくどく、いやみったらしく受け取りそうになりがちだが、お互いが敬愛しているからこそ、たかしが涙を流すという現象になったと考える。本教材を通して、自分の家族が愛情をもって接してくれていることに気づき、家族の一員として、協力「しなければならない」ではなく、協力「していきたい」という気持ちを育ませたい。

4 本時の学習

- (1) ねらい 家族を敬愛し、協力し合って生活していこうとする心情を育む
- (2) 準備 掲示用請求書（主人公、母）アンケート結果（親）大型モニター
- (3) 展開

過程	学習活動と主な発問	予想される児童の反応	時	指導上の支援		
導入	<p>○家族について、今の自分の思いを整理させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">みんな、家族を愛してる？</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">めあて：家族愛ってなんだろう</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・愛してる！ ・愛してる・・・まではいかないかな。好きくらい。 ・はずかしいけど、まあまあ愛しているかもしれない。 ・でも怒られたりすると嫌だ。 	5	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な存在である家族に対して、率直な思いを述べさせるようにする。 ・抽象的すぎる児童の発言には、具体的な場面を聞く。 		
展開	<p>○資料を読み、状況を整理しつつ、主人公と母の心を探っていく。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">たかしと母の請求書は何がちがうのだろう。</div> <p>【補助発問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・請求書を出した時の気持ちはどうだったのかな。 <p>【問い返し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わざわざたかしと同じように請求書にしたのはなぜ？ ・なんのために請求書に書いてあることを母はやっているの？ <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">（たかしは 500 円もらったのに、）母のせいきゅう書を見て泣いた時のたかしの気持ちは？</div> <p>【問い返し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お金をもらったから笑顔じゃないの？ ・なぜごめんなさい？わがままってどういうこと？ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">このあとのたかしの気持ちや行動はどう変わっただろう。</div>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>たかし</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金額 ・それだけの仕事（時間が少ない） ・おこづかいがほしい ・頑張っていることを認めてほしい。 </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>母</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無料 ・ずっとしている仕事（時間が長い） ・日頃からやっけることに気付いてほしい。 ・たかしを大切に思っているからやっているんだよ。 </td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ごめんなさいと思った ・わがままをいっちゃった ・たくさんいろいろしてくれたのにひどいことをしてしまった ・たくさんいろいろしてくれたことに気付いていなかった ・お金は請求しなくなると思う。 ・お母さんのために何かしてあげたいと思う。 ・お母さんと同じように家族としているいろいろ手伝うと思う。 <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div>	<p>たかし</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金額 ・それだけの仕事（時間が少ない） ・おこづかいがほしい ・頑張っていることを認めてほしい。 	<p>母</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無料 ・ずっとしている仕事（時間が長い） ・日頃からやっけることに気付いてほしい。 ・たかしを大切に思っているからやっているんだよ。 	20	<ul style="list-style-type: none"> ・主人公と母の請求書を比較することで、主人公の思ったことを探りやすいようにする。 ○子どもの幸せ願う母の思いをまとめる ・母が叱る意味で請求書を渡したのではなく、主人公の幸せを願っていることに気づいてほしいことがわかるように、意図的に分けて板書する。 ・自分で考える時間、ペア、グループで話し合う時間を取り、主人公の気持ちを深く探れるようにする。 ・なぜ主人公が「罪悪感を感じたのか」を聞くことで、自分のことしか考えていないこと、母がたくさんお世話をしてくれた感謝の気持ちを気づかせる。 ・母の思いを知った主人公が、「家族に協力したい」という心の変容に気づかせる。
<p>たかし</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金額 ・それだけの仕事（時間が少ない） ・おこづかいがほしい ・頑張っていることを認めてほしい。 	<p>母</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無料 ・ずっとしている仕事（時間が長い） ・日頃からやっけることに気付いてほしい。 ・たかしを大切に思っているからやっているんだよ。 					

